

## 長岡市・関係団体共同記者発表要旨

日 時：令和2年5月1日（金）午後1時から

会 場：アオーレ長岡東棟4階 大会議室

【発表項目：「やっぱり好きんが長岡 未来応援プロジェクト」事業】

出席者：長岡市長 磯田 達伸

長岡商工会議所 会頭 丸山 智

長岡商工会議所青年部 会長 鷺頭 加思郎

（司会）

「やっぱり好きんが長岡 未来応援プロジェクト」事業の共同記者発表を始めます。プロジェクトの事業内容について、プロジェクト提案者である長岡商工会議所青年部の鷺頭会長からご説明いただきます。

（鷺頭会長）

中越大震災や東日本大震災の時も市民みんなで打ち上げてきた長岡花火が、今年は、新型コロナウイルスの影響で、戦後初めて中止となりました。これまで当たり前のようにできたイベントへの参加や、お店での食事や買い物、仲間たちとの飲み会も控えなければいけない状況で、長岡のまちもすっかり閑散としてしまい元気がなくなっています。そんな長岡のまちに再び活気を取り戻したいという思いで、クラウドファンディングを通じて、経営に苦しんでいる事業者に将来の売上を確保してもらうなどの支援をするプロジェクトを企画いたしました。

このプロジェクトには、長岡市の磯田市長、長岡商工会議所の丸山会頭から賛同いただき、手数料などの費用を補助いただいております。

一つ目のチケット・商品購入型のプロジェクトについて説明します。

まず、支援者がクラウドファンディングのサイト上で支援額と支援したいお店を選んで応募していただき、その支援額が商工会議所青年部の委託する事務局に入ります。その際にかかるクラウドファンディング運営会社への手数は商工会議所から補助していただきます。

次に、お店から支援者へ、支援額に10%のプレミアを付けたサービスまたは商品のチケットを提供します。

そして、事務局からお店へ、支援額にプレミア付加分を加えた金額から、事務局手数料として支援額の3.3%を差し引いた金額が振り込まれます。この際、プレミア10%分は長岡市から5%、商工会議

所から5%を、振込手数料は長岡市から補助していただきます。

このように、お店の負担は商工会議所青年部が委託する事務局への手数料のみで済むうえ、支援者へのリターンもしっかり確保した事業となっています。

具体例としては、支援額合計が10万円の場合は、10万円にプレミア分の1万円を加え、事務局手数料3,300円を引いた金額10万6,700円がお店に振り込まれます。支援者には、11万円相当のサービスや商品のチケットが提供されます。

なお、支援額5,000円、1万円、3万円、5万円、10万円の5コースで募集します。各コースに対してリターンするサービスや商品は、それぞれのお店で用意して、クラウドファンディングのサイトに掲載します。

二つ目の事業支援型プロジェクトについて説明します。

我々が心豊かに健康で過ごしていけるのは、長岡の文化、芸術、芸能やさまざまな社会的課題に取り組む団体の活動があるからだと思っています。新型コロナウイルスが収束した時に、それらの団体が元気に活動を再開できるように支えたいという思いで用意をいたしました。

まず、支援者がクラウドファンディングのサイト上で支援額と支援したい団体を選んで応募していただきます。そして、その支援額が事務局を経由して団体へ振り込まれます。その際にかかるクラウドファンディング運営会社への手数料5%プラス消費税と、事務局手数料3%プラス消費税、振込手数料については長岡市から補助していただきますので、参加団体の負担はありません。

支援者へのリターンとしましては、支援金額に応じた期間、長岡商工会議所青年部ホームページに支援者の紹介を掲載させていただきます。

なお、支援額5,000円、1万円、3万円、この3コースを募集します。支援者紹介のホームページ掲載期間は、5,000円は1ヵ月、1万円は2ヵ月、3万円は3ヵ月です。

最後に、募集スケジュールについて説明します。

参加店の申込期間は5月1日から始まり、一次締め切りの5月8日までに申し込みしたお店は、5月15日からサイトに掲載します。二次締め切りの5月22日までに申し込みしたお店は、5月29日からサイトに掲載します。

支援金の応募期間は5月15日から6月29日までです。

チケットの配付期間は7月15日から8月31日までです。チケットの有効期間は、新型コロナウイルスの収束時期が見えないため、9月1日から令和3年7月22日までと長く取らせていただいています。

以上で事業内容の説明とさせていただきます。このプロジェクトを通じて、1人でも多くの方が、ふるさと長岡に思いを寄せていただき、長岡の伝統の米百俵の精神で、助け合い、長岡市が明るい未来に向けて力強く歩みを進めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

**(司会)**

次に、プロジェクトをバックアップいたします、長岡市磯田市長からコメントをいただきます。

**(市長)**

長岡商工会議所青年部の皆さまの熱い思いが伝わってくる素晴らしい取り組みを、商工会議所と長岡市が応援する形で、こうして発表に至ったことを本当にうれしく思っております。

新型コロナウイルスがいつ収束するのか見えない中で、厳しい状況が続く市内の飲食・物販・宿泊を含む事業者、教育や文化、観光、地域振興といった地域貢献に取り組む団体に対して支援をするこのプロジェクトを多くの長岡市民からも賛同いただきたいと思っています。

長岡市は引き続き、市内事業者、団体の活動をしっかりと支えるため、いろいろ支援に取り組んでいきたいと考えております。

**(司会)**

続きまして、同じくプロジェクトをバックアップされます、長岡商工会議所丸山会頭からコメントをいただきます。

**(丸山会頭)**

企業というものはとにかく働いて利益を得なければならないのが通常ですが、新型コロナウイルスの影響による事業縮小や移動の自粛が求められている現在の状況は、初めて経験するケースです。そのような中で、何もしなかったら何も動きません。いいか悪いかやってみなければ分からないので、それなら思いっきりやろうと青年部が主体となり行動を起こしたプロジェクトです。

絵に描いた餅にならないようにしようということは我々の一致した意見ですが、それには皆さまからの応援が必要です。ぜひ皆さまからのご協力をお願いいたします。また、マスコミの皆さまからは、大いに宣伝していただくように、特にお願い申し上げます。

**(司会)**

それではこれより質疑応答に入ります。

**(記者)**

「やっぱり好きんが」とは、標準語ではどういう意味ですか。

**(鷺頭会長)**

長岡弁で、やっぱり好きだ、というニュアンスです。

**(記者)**

クラウドファンディングは既存のサービスを使うのでしょうか。

**(鷺頭会長)**

キャンプファイヤーを使用します。

**(記者)**

キャンプファイヤーのサイト内に、支援できるお店が並んで掲載されるイメージですか。

**(鷺頭会長)**

はい。キャンプファイヤーのサイトのほかに、専用のURLから専用サイトにアクセスすることも

可能です。

**(記者)**

クラウドファンディングでは、目標額があり、それを達成しないと不成立というものもありますが、このプロジェクトはそういうものではないと理解してよろしいですか。

**(鷲頭会長)**

オールイン方式という、目標額に達しなくても成立する方式をとっています。

**(記者)**

事業支援型は、具体的にどのような団体が対象になるのですか。

**(鷲頭会長)**

新型コロナウイルスの影響により、イベントの実施をやむなく中止した団体や、感染拡大により発生した課題を解決するための活動や、学生や子育て支援活動に取り組んでいる団体などを対象にしております。

**(記者)**

チケット・商品購入型の支援は、事業者には手数料を引いた支援額が入りますが、支援者には支援額に10%分が付加された金額相当のリターンがそのまま来るということでよろしいでしょうか。

**(鷲頭会長)**

1万円を寄付した場合には、10%分を加えた1万1,000円相当のチケットもしくは商品が渡されます。

**(記者)**

支援者へのチケットや商品の受け渡しは、事業者の責任で行われるのですか。

**(鷲頭会長)**

支援を受けた店舗側の責任で発行等していただきますが、共通のフォーマット等は商工会議所青年部で用意いたします。支援者と事業者とのやりとりに、商工会議所青年部は介入しない予定です。

**(記者)**

クラウドファンディングの目標額として、チケット・商品購入型で5,000万円、事業支援型で450万円という目標額を設定した根拠と、店舗ごとの支援受け入れの上限額があるのかを教えてください。

**(鷲頭会長)**

チケット・商品購入型に関しては、仙台市、柏市で行われている同じような取り組みで、飲食店を対象に、2、3週間で2,000万円を超える寄付が集まっていることを参考にしました。本プロジェクトでは、飲食店以外の業種も対象にしていることと、募集期間を長くしていることを踏まえ、目標額を設定しました。また、事業支援型に関しても、柏市で行われている同様の取り組みを参考に設定しております。

店舗ごとの支援受け入れの上限額については、今のところ、設けずに支援を募集しようと考えています。

(記者)

募集期間中は目標額を超えても続けるということですか。

(鷺頭会長)

そうです。目標額は大きく設定しているので、それを超えるという想定はあまりしていませんが、それぐらいの支援金を集めたいと思っています。

(記者)

飲食業、観光業の経営が大変厳しい状況にあるとのことですが、数値的な裏付けはありますか。

(鷺頭会長)

長岡商工会議所青年部の会員企業300社に、新型コロナウイルス感染拡大に伴うアンケート調査を行い、約180社から回答がありました。

その結果として、約7割が売上減少があると回答しており、そのうちの約半数が5割以上の売上減少となっています。中には、売上がほぼゼロという回答もあり、相当ひっ迫している状況にあることが調査でわかっています。

(記者)

商工会議所青年部で発案したプロジェクトに、市が支援することになった経緯を教えてください。

(鷺頭会長)

たくさんいる売上減少で苦しんでいる企業を何とかしたいと考えて企画した年度初めのタイミングで、商工会議所会頭、長岡市長にご挨拶する機会があり、その思いをお話したところ、賛同いただき厚い補助をいただくことができました。

(司会)

以上を持ちまして、共同記者発表を終了します。ありがとうございました。